

品を入れ、又各人木椀一個宛を懐中せり。斯る用意は、獨り蒙古族のみに止まらず、殆んど新疆の一般邊境民の風習とす。

以上は専ら吐爾扈特族に就て記せり。然れども其他の蒙古族、即ち和碩特、察哈爾、額魯特等も亦大同小異なれば之れを略す。

漢回の男子は、身體肥大にして、皮膚白く頭髮黒し。面相は圓長額高く、目黒く、眉毛鬚髯濃密なり。此の種族は、所謂東干人^{トシガン}にて、最初歸化當時より、全く清人と同じく辮髮に組み、服裝をも改めしが、最後の謀叛以後は、往々辮髮せざる者あるに至れり。女子の風采は清人と異なる無し。服裝は男女共に、清人と同一なるが故に之を省く。

滿漢人

滿漢人の服裝風采は、邦人の熟知する所なれば、敢て之を記するの要なし。然れども滿人中の一種族たる、錫伯人と索倫人との風貌に就て、一言するの要あり。索倫人は、身體稍、肥滿長大、他の滿洲人に比ぶれば、頗る威風あり。之に反し、錫伯人は、身體柔弱、風采甚だ野鄙なるを免れず。要するに、錫伯人は、懶惰の勞働者風にて、索倫人は、武人の風を有す。